

「オネシモを送り帰します」

2019年05月15日

フィレモンへの手紙 8節～16節 それで、わたしは、あなたのなすべきことを、キリストの名によって遠慮なく命じてもよいのですが、むしろ愛に訴えてお願いします、年老いて、今はまた、キリスト・イエスの囚人となっている、このパウロが。監禁中にもうけたわたしの子オネシモのことで、頼みがあるのです。彼は、以前はあなたにとって役に立たない者でしたが、今は、あなたにもわたしにも役立つ者となっています。わたしの心であるオネシモを、あなたのもとに送り帰します。本当は、わたしのもとに引き止めて、福音のゆえに監禁されている間、あなたの代わりに仕えてもらってもよいと思ったのですが、あなたの承諾なしには何もしたくありません。それは、あなたのせつかくの善い行いが、強いられたかたちでなく、自発的になされるようにと思うからです。恐らく彼がしばらくあなたのもとから引き離されていたのは、あなたが彼をいつまでも自分のもとに置くためであったかもしれません。その場合、もはや奴隷としてではなく、奴隷以上の者、つまり愛する兄弟としてです。オネシモは特にわたしにとってそうですが、あなたにとってはなおさらのこと、一人の人間としても、主を信じる者としても、愛する兄弟であるはずで

パウロは、フィレモンにキリストの名によって遠慮なく命じても良いのだが、むしろ愛に訴えてお願いすると言っている。パウロがフィレモンを信仰に導いたこと、愛の人として認めている書き方である。パウロは「年老いて、今はまた、キリスト・イエスの囚人になって」と書き、高齢になり、しかも監禁中の私からの頼みであるから、聞き入れて欲しいと語りかけている。あなたの奴隷だったオネシモは、パウロの監禁中に、導かれてキリスト者になった。パウロは、「わたしの子オネシモ」と言い、彼のことで頼みがあると書いている。オネシモは、以前はあなたにとって役に立たない者であっただけでなく、主人の所から逃げ出した裏切り者である。しかし今は、キリスト者になり、あなたにも私にも役に立つ者になった。オネシモはギリシア語で「有益な（者）」という意味である。パウロは、キリスト者として、あなたにとっても有益な者となったと言っている訳である。パウロはオネシモを「わたしの心である」とも言って、彼への愛を表している。私の心であるオネシモをあなたの下に送り帰す。私の下に引き留め、福音のゆえに監禁されている間、あなたの代わりに仕えてもらってもよいと思ったのですが、あなたの承諾なしには、そうすることはできない。あなたの意志を尊重するのは、あなたの周りのキリスト者に対するあなたの善い行いは強いられたものではなく、どこまでも自発的になされたと思うからである。オネシモを、監禁されている私に仕える者として、私の下に留め置きたいと思うが、あなたの周りの人々への自発的な愛を思うと、あなたの承諾なしに、私の下に留めることはできない。そこで、オネシモをあなたの下に送り帰すと言っている。

オネシモがあなたの下からしばらく引き離されていたのは、おそらく、これからはオネシモがあなたの下にいることになるためだったのであろう。その場合、オネシモはもはや奴隷としてではなく、奴隷以上の者、つまり、即ち、愛する兄弟となる。私にとって彼は特にそうですが、あなたにとっては、なおさらのこと、一人の人間としても、主イエスを信じる者としても、愛する兄弟のはずである。オネシモをあなたの下に送り帰すが、彼は私の下でキリスト者になり、私の子となり、有用な者となった。パウロは、主イエスを信じる兄弟として愛し、受け入れてほしいと懇願している。